

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

2030年に向けてのありたい姿を実現し、持続的成長を目指す

売上高
4,000億円営業利益
500億円ROE
10%連結配当性向
50%

② 中長期の経営戦略

1. 国内コア事業強化

サプライチェーン強化やグループ間シナジーを活用し収益性を重視。M&Aも活用し営業利益210億円を目指す

3. 成長事業展開

稼働予定の増産設備投資による収益最大化と海外シェア拡大。脱炭素社会実現に貢献する新商品開発

2. 海外事業基盤整備

需要拡大地域での設備投資と収益安定化に向けた基盤整備。M&Aも活用し営業利益25%増を目指す

4. 3年間投資計画

1,300億円の投資。国内コア事業305億円、成長事業520億円、海外75億円、M&A400億円

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 日本経済の先行き不透明感と景気後退リスク対応
- ・ 米国通商政策・関税影響への注視と対応
- ・ 世界的な貿易・経済不確実性への迅速な対応

② 国内事業の需要低迷

- ・ 中小建築分野の需要回復が期待薄で販売数量確保が困難
- ・ コイル仕入価格軟化とコスト上昇への対応
- ・ 営業・生産・間接部門の生産性向上推進

③ 海外事業の課題対応

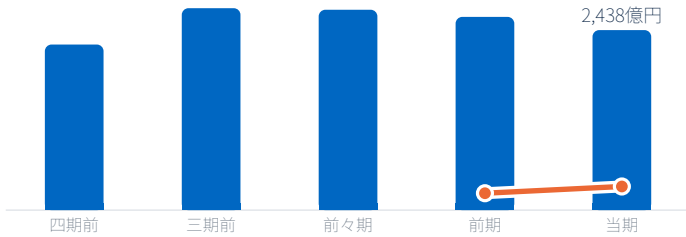
- ・ 北米：関税問題・景気後退懸念の中でMST-X社の初期立上げ費用負担
- ・ メキシコ：日系自動車メーカー米国向け輸出動向の不透明性
- ・ アジア：中国輸出コイル価格下落、アンチダンピング問題への対応

面で使えるポイント

- ・ MARUICHI 2030 Visionの実現に向け、第7次中期経営計画で2030年度売上高4,000億円・営業利益50…
- ・ 国内コア事業・海外コア事業・成長事業の3事業で、3年間1,300億円の投資を計画し事業拡大を推進中
- ・ カーボンニュートラル社会に向けた取り組みと、ワクワクしながらイキイキと働ける職場づくりを重視する経営方針を展開

証券コード 5463

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,438億円営業利益率
13.1%財務健康度
75点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
722万円

鉄鋼内 20位/38社

平均年齢
40.9歳

鉄鋼内 25位/38社

平均勤続
19.35年

鉄鋼内 9位/38社

女性管理職
5.0%

鉄鋼内 9位/32社

男性育休
64.3%

鉄鋼内 22位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

